

フェルト羊毛って？

どうして
羊毛はかたまるの？



羊毛の表面には「キューティクル」という、一方向に向いた「ひだ」があります。羊毛をこすることで、繊維どうしのキューティクルが絡み合っただたまりになり、「フェルト化」します。

水フェルト

羊毛を湯や水につけてキューティクルを広げ、せっけんですべりを良くしながらこすり、フェルト化させます。カバンやマフラーなど、大きめの作品作りにむいています。



フェルティングニードル

針先に小さな突起をいくつも持った専用針で羊毛を突き刺すことで繊維がひっかかり、絡み合っただたまりフェルト化します。マスコットやアップリケなど、繊細な作品作りにむいています。

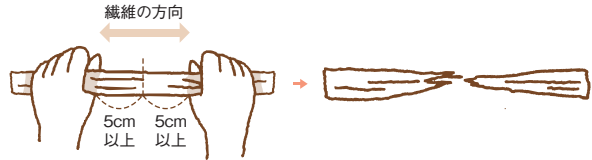


きれいに
仕上げるための
羊毛の扱い方



フェルト化をきれいに仕上げるコツは、「繊維をうまく絡み合わせること」。そのため羊毛を分ける時は、繊維を切断してしまうハサミで切るのではなく、引き抜くようにちぎり、繊維を自然な形で残しながらとり分けます。

図のように分ける位置を中心として、左右5cm以上離して軽くにぎり、力を入れすぎないようにしてゆっくり引き抜くように分けます。



水フェルトの
ポイント



① 羊毛は厚さが均一になるように重ねます

スライバーはなるべく薄くした羊毛を縦横に並べ、フェルトケットも重ねた厚みが均一になるようにチェックします。

② フェルト化する時も、ムラなく均一に

指先でつまんで、繊維がまとまり全体が少しもちあがってくるような感じならOK。



③ 仕上げのアイロンを丁寧に

脱水して半乾きの状態のときに、丁寧にアイロンをかけて乾かすと表面がなめらかになります。

フェルティング
ニードルの
ポイント



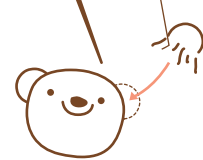
① 最初はおおまかな形にまとめ、少しずつ羊毛を巻いて完成形に

最初は芯を作るつもりで大まかにまとめ、羊毛を巻いては刺し固める作業を繰り返しながら、完成の形・大きさに仕上げます。

② パーツの接合部分は、フワフワのまま残しておきます

各パーツを作りそれらを接合させる場合、接合部分はフワフワのまま残します。フワフワの繊維を刺しながら、なじませつつ接合することで、境目なくきれいに接合できます。

フワフワのまま残しておいて、接合するときなじませます



③ 仕上げの時は、やさしく刺すと針穴が目立ちません

最後に仕上げをする時は、やさしく刺すと針穴が目立ちませんが、針穴がついてしまった場合でも、時間がたつとだんだん目立たなくなります。

フェルティングニードル 道具の使い分け

作る作品によって、道具を使い分けると作業もよりスムーズに。

	ニードル	マット	指サック
マスコット	フェルティングニードル [1本タイプ] H441-014	フェルティング用マット H441-015	フェルティングニードル 専用指サック H441-026
スイーツ	フェルティングニードル極細 [1本タイプ] H441-023	羊毛スイーツ パターンマット H441-028	フェルティングニードル 専用指サック(3本指タイプ) H441-029